



必要な人手

フロア スタンドの支柱に LCD ビデオ ユニットを取り付けるには、2 人の人手が必要です。

寸法

高さ: 1430mm (56.5インチ)
幅: 1030mm (40.5インチ)
奥行: 610mm (24インチ)
重量: 40.5kg (89ポンド)

マニュアル

コンプライアンスおよび安全情報も記載されたこの製品のユーザ マニュアルは、シスコの Web サイトで入手できます。
アクセス先: <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

1a MX200 ビデオ システムの開梱

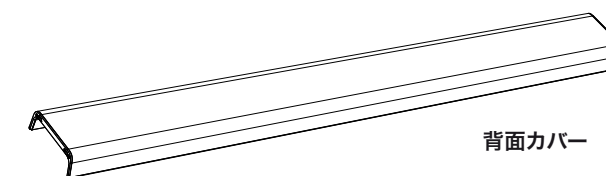
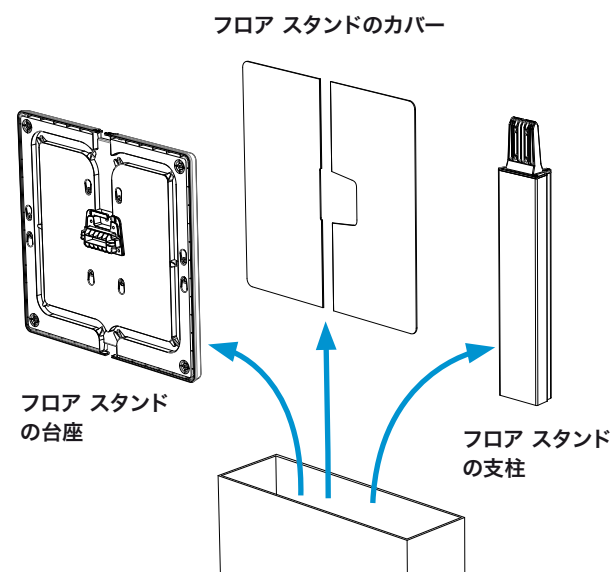
MX200 フロア スタンドの台座の箱

MX200 フロア スタンドの台座の箱には、フロア スタンドの支柱、カバー (2 枚)、台座、ネジ、取り付け用のアレンキーが梱包されています。

注: 空箱は、ステップ 2 でフロア スタンドを取り付ける際に使用します。

MX200 フロア スタンドのふたの箱

MX200 フロア スタンドのふたの箱には、背面カバーが梱包されています。背面カバーはステップ 6「仕上げ」まで使用しません。

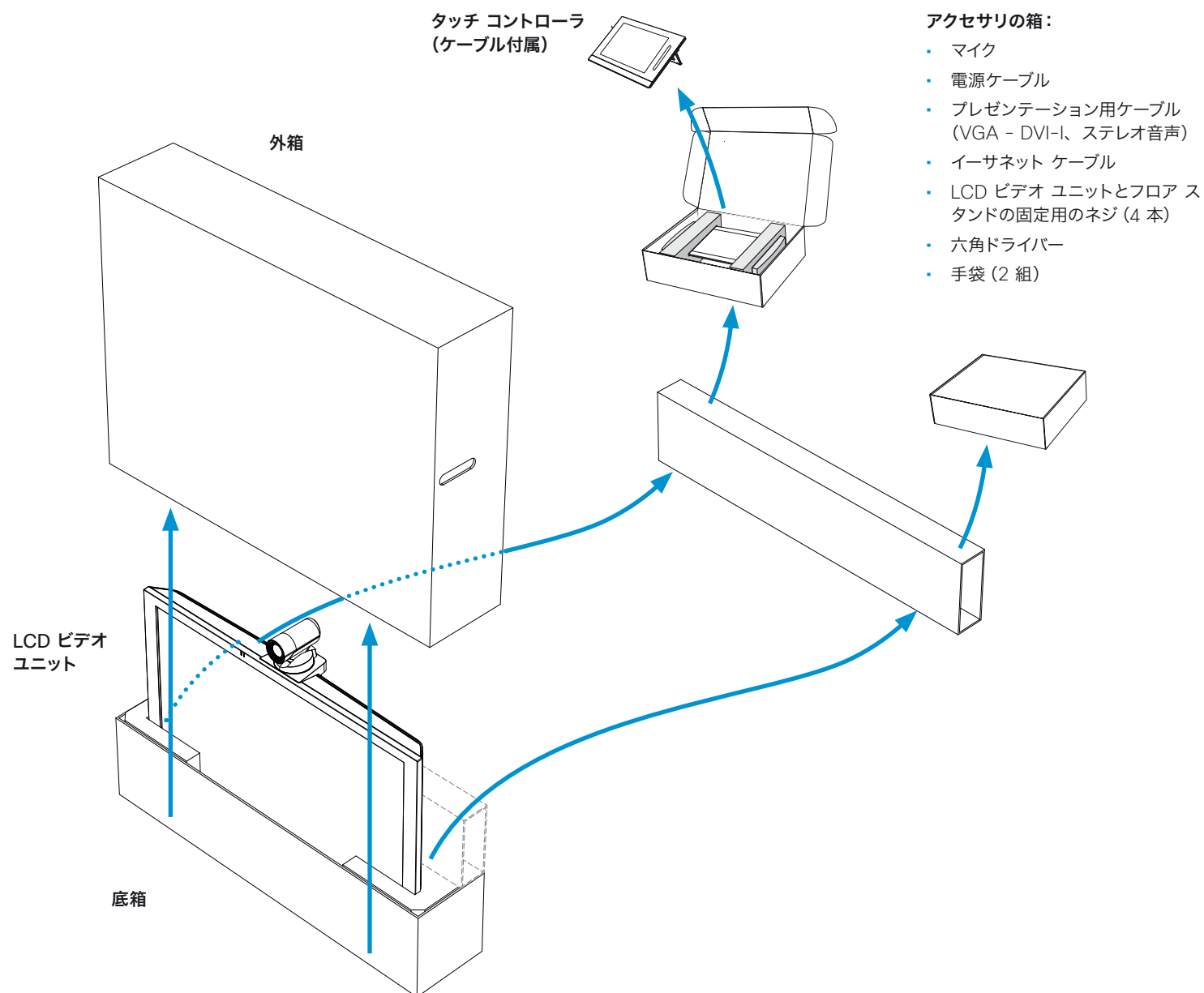


1b MX200 ビデオ システムの開梱

MX200 の箱

MX200 の箱には、LCD ビデオ ユニット、タッチ コントローラ、アクセサリが梱包されています。

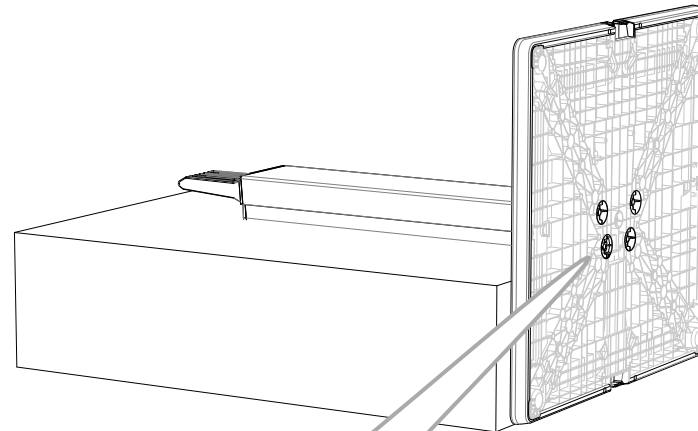
- i 梱包バンドを切り、外箱を持ち上げます。
- ii 上部の梱包材を外します。
注: LCD ビデオ ユニットはまだ底箱から出さないでください。
- iii LCD ビデオ ユニットの後ろ側から長方形の箱を取り出します。
この箱には、タッチ コントローラの箱とアクセサリ (マイク、ケーブル、ネジ、工具) の箱が入っています。
- iv タッチ コントローラを箱から取り出し、アクセサリ用の箱を開けます。



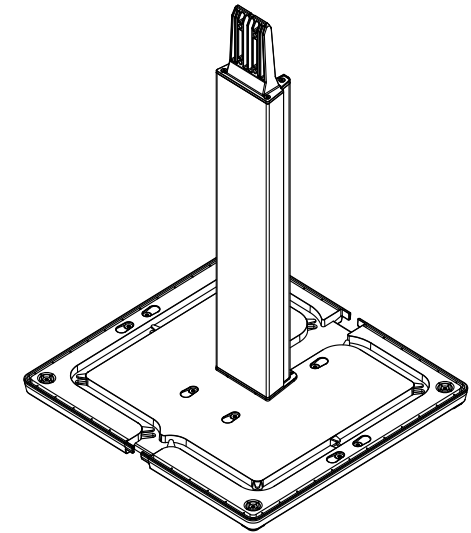
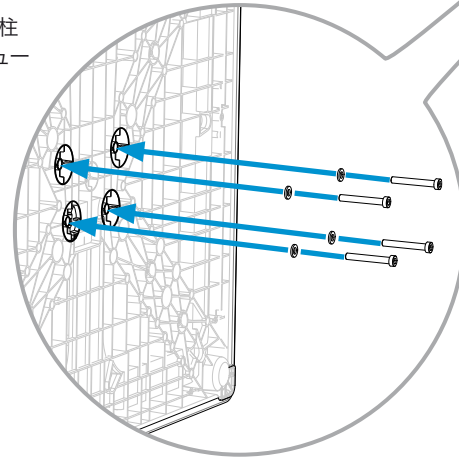
2 フロア スタンドの取り付け

- i 台座の空箱の上にフロア スタンドの支柱を寝かせて置き、ケーブル用の溝がある方を下向きにして、底面を手前に向けます。
- ii ケーブル用の溝がある方を支柱側、くぼみ穴のある方を床面側にして、フロア スタンドの台座を立てます。
台座を支柱に取り付け、ネジ穴を合わせます。

- iv フロア スタンドを立てます。



- iii 4 個のワッシャーとネジ（長い方）で台座モジュールを支柱に固定します（工具:アレンキー）。ワッシャーは台座モジュールとネジの間に挟んでください。



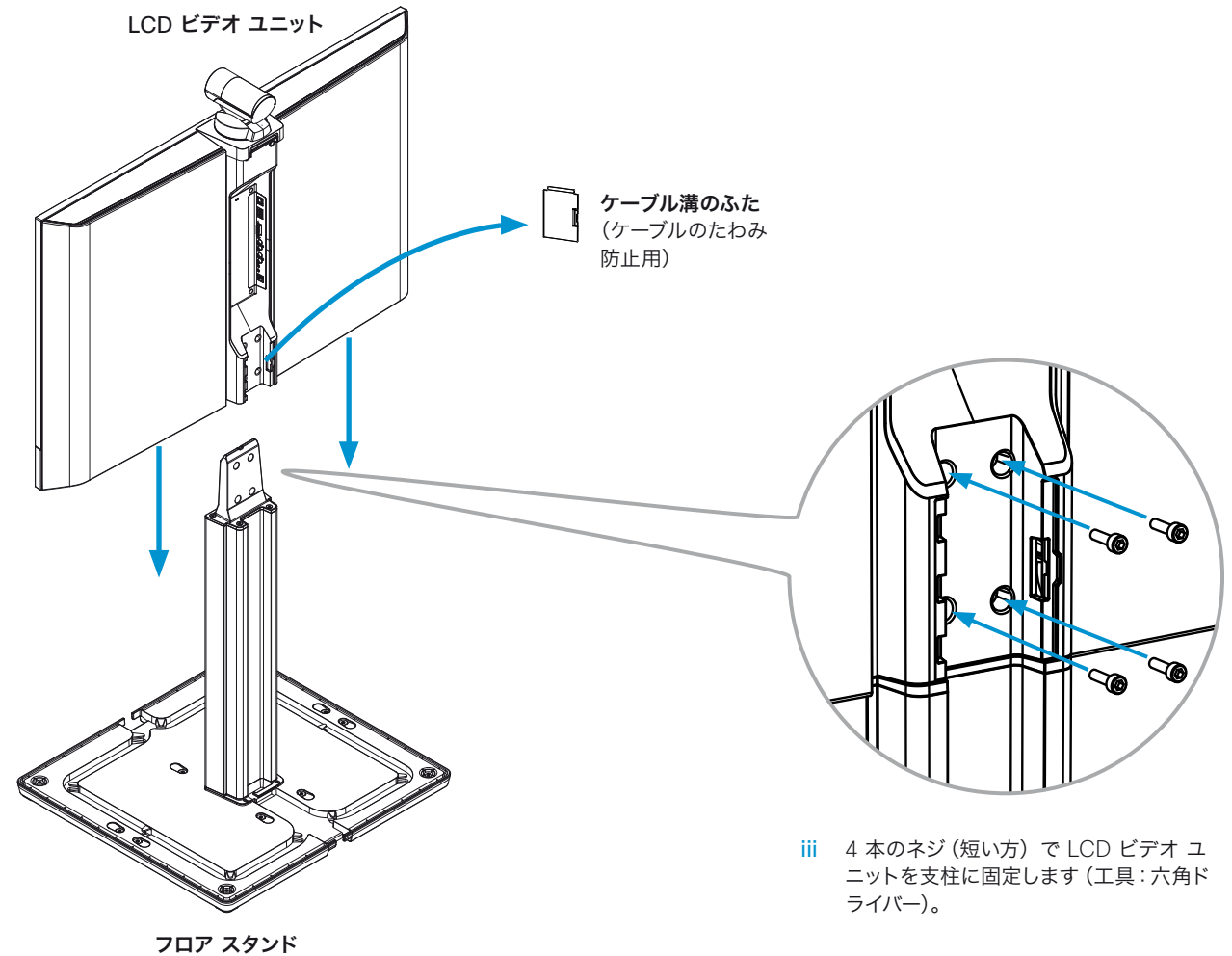
3 フロア スタンドへの LCD ビデオ ユニットの取り付け

注: LCD ビデオ ユニットを取り扱う際は、表面を傷つけないように、付属の手袋を必ず着用してください。



27 kg (60 ポンド)

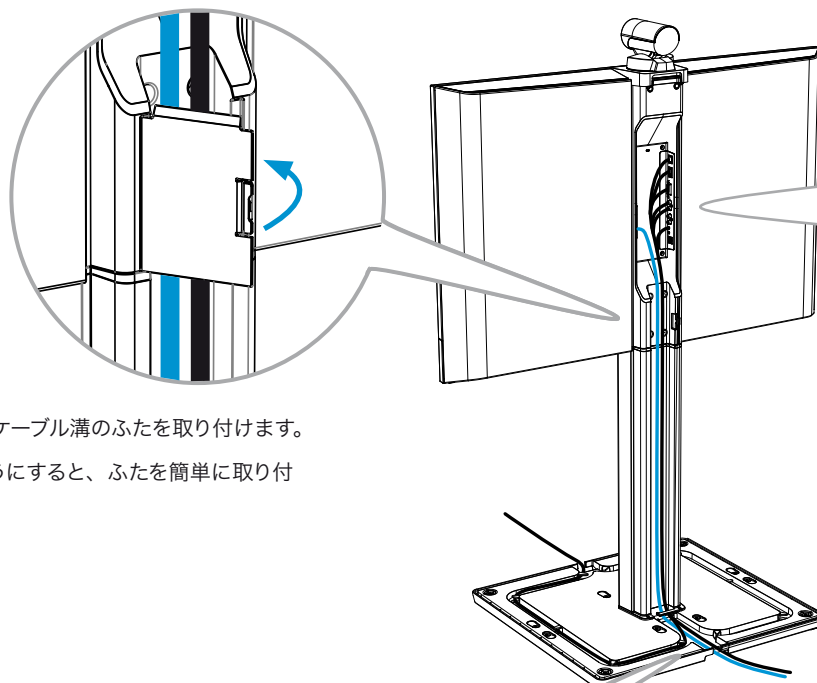
- i LCD ビデオ ユニットを持ち上げ、フロア スタンドの支柱の上部にはめ込みます。この作業は 2 人で行ってください。
- ii ケーブル溝のふたを外し (下記の図を参照)、ネジ穴が見えるようにします。



4 ケーブルの接続

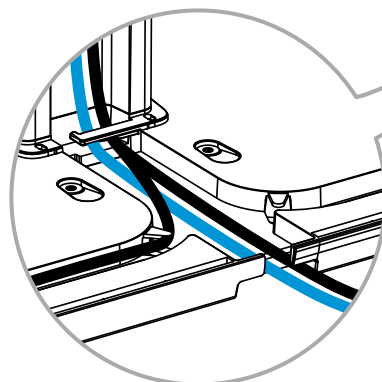
- i ケーブル類を接続し、ケーブル用の溝に通します。

コネクタ類は LCD ビデオ ユニットの背面にあります。詳細については、右の図を参照してください。



- ii ケーブルのたわみ防止用のケーブル溝のふたを取り付けます。

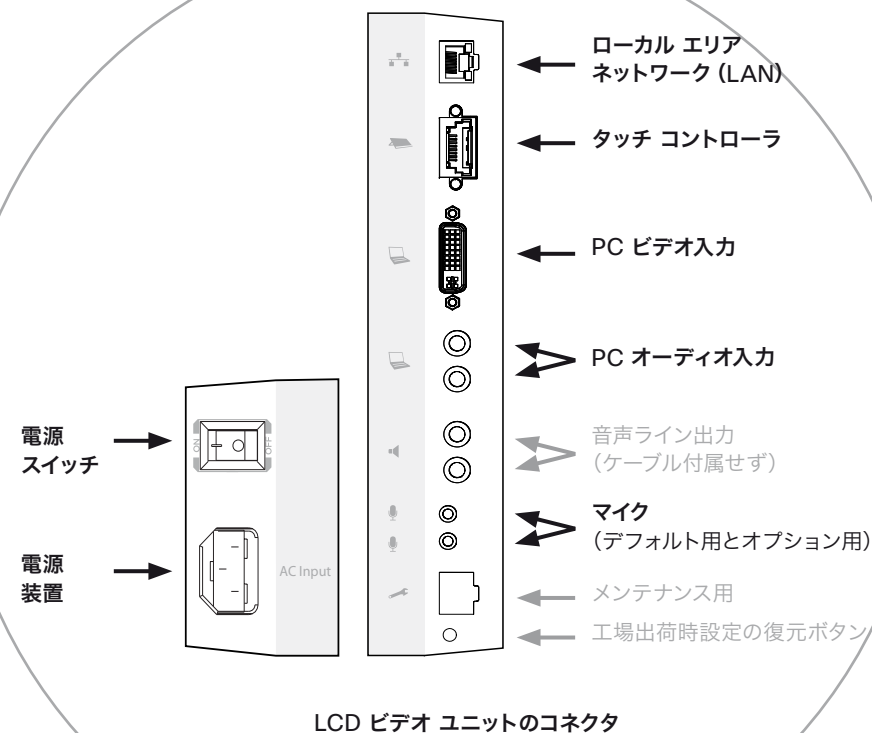
注: ケーブルが横に並ぶようにすると、ふたを簡単に取り付けられます。



- iii ケーブル類をフロア スタンドのケーブル用の溝に通します。ケーブルがフックの下を通るように注意してください。

ケーブルはシステムの前面または背面から出すことができます。

注: ケーブルが必要以上に長い場合は、溝に沿って周回させてください。この作業は、便宜上ケーブルをユニットに接続する前に行っても構いません。



5 システムのスイッチ投入

- i LCD ビデオ ユニットに装着されたケーブルをコンセントに差し込み、タッチ コントローラが接続されていることを確認します。

安全要件: 機器は壁のコンセントの近くに設置し、設置後に壁のコンセントにすぐ届くようにしてください。

- ii システムのスイッチを入れます。

電源スイッチは LCD ビデオ ユニットの背面の電源コネクタの横にあります。

- iii MX200 が起動するまでしばらく待ちます。通常は数分かかります。ソフトウェアの自動アップグレードが実行される場合は、起

動に最大 15 分かかります。

タッチ コントローラにホーム メニューと連絡先リストが表示されたら、システムは使用可能な状態になっています。

注意: カメラの位置を変更する場合は、必ずタッチ コントローラの [カメラ操作 (Camera Control)] パネルを使用します。電源のスイッチが投入されている場合は、手でカメラを移動しないでください。

EMC クラス A 適合宣言

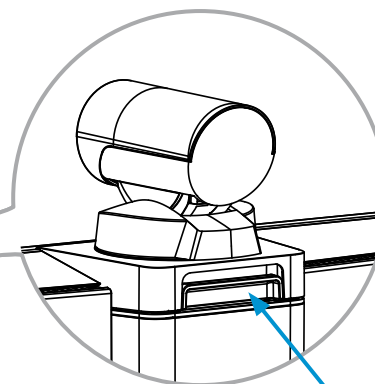
警告: この装置は、クラス A 情報技術装置です。国内環境で本製品を使用すると、電波障害を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザが十分な対策を講じるように求められることがあります。

6 仕上げ

- i ケーブル類がケーブル用の溝のフックの下に通っていることを確認します。

次に、2 枚あるフロア スタンドのカバーを 1 枚ずつ取り付けます。カバーを台座に下ると、磁石で固定されます。

- ii 背面カバーを留めて、コネクタとケーブルを覆います。

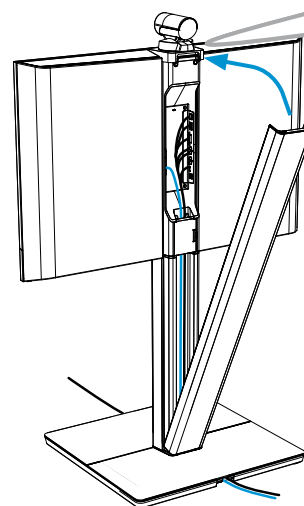
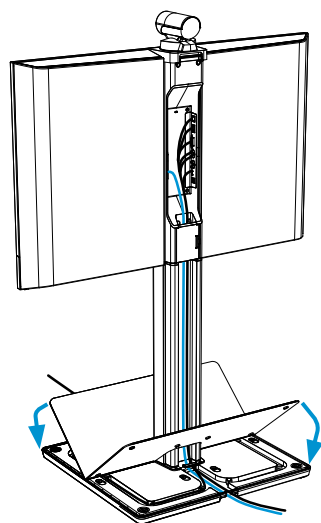


このつまみを持ち上げると、背面カバーをロック / ロック解除できます。

- iii LCD ビデオ ユニットから保護ビニールをはがします。

- iv 必要に応じて、付属の乾いたクリーニングクロスでタッチ ディスプレイを拭いてください (LCD ビデオ ディスプレイは拭かないでください)。

- v タッチ コントローラの傾きを大きくするには、背面の脚を開きます。



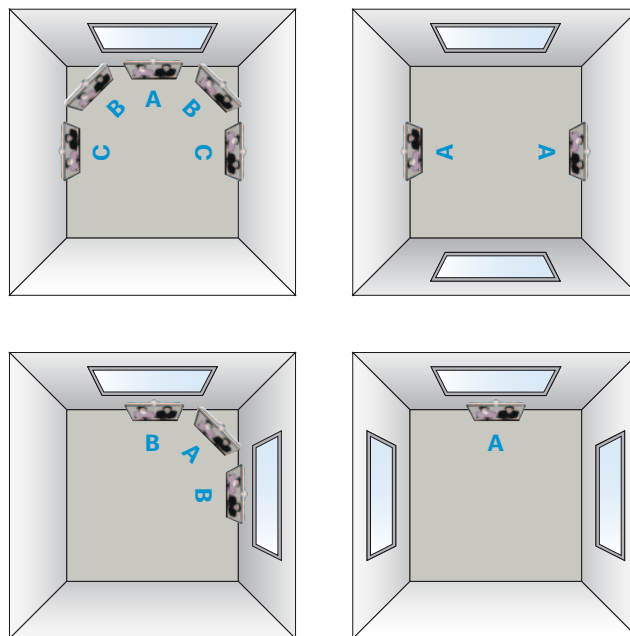
LCD ビデオ ユニットの配置

ビデオ システムを部屋にどのように配置するかは、ローカル サイトとリモート サイトの両方における全体的な会議環境に影響します。

次のように調整してください。

- ・ 顔が影で暗くならないように照明を明るくする。
- ・ 反射を防ぐため LCD ビデオ ディスプレイに直射日光が当たらないようにする。

右の図は、部屋における窓の位置によって MX200 システムをどこに配置すればよいかを一般的に示しています。各部屋のレイアウトにおいて、MX200 の位置は A が最適で、以下 B、C の順になります。図で示した位置以外には設置しないようにしてください。



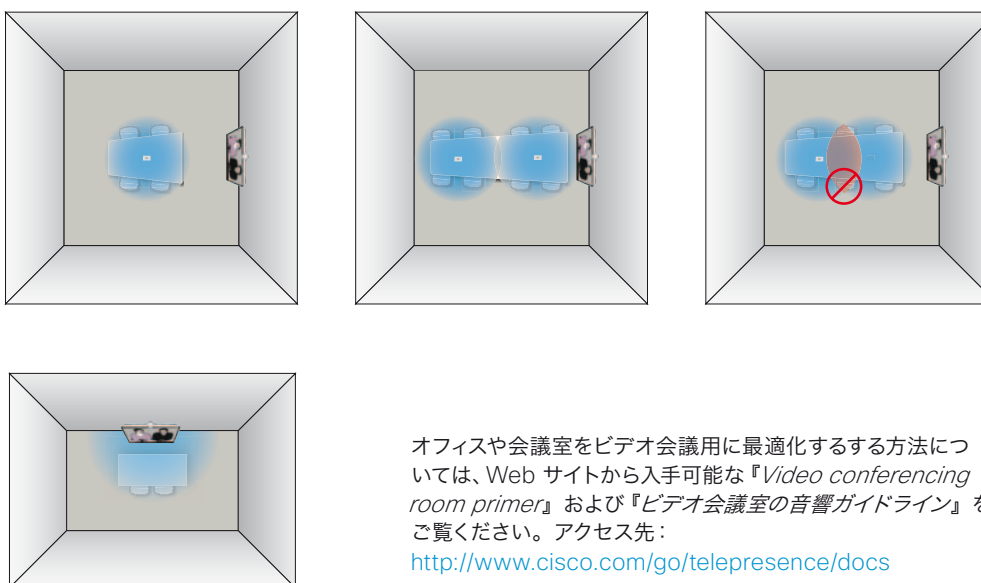
マイクの配置

会議を円滑に進めるためには、マイクを適切な位置に配置することが重要になります。

マイクはできるだけ参加者全員に近い位置に配置し、コンピュータやプロジェクタのようなファンの動作音が大きい機器はマイクの近くに置かないようにしてください。

複数のマイクを使用している場合は、干渉しないように十分離してください。マイク同士の間に必要な距離は部屋の音響によって異なりますが、通常は 2m (6.5 フィート) あれば十分です。

会議の参加者全員とディスプレイの距離が 2.5m (8 フィート) 未満の狭いオフィスや会議室であれば、MX200 の内蔵マイクで十分ですが、外付けマイクを適切に配置することにより、より良好な環境にすることもできます。外付けマイクを接続すると、内蔵マイクは自動的にオフになります。



オフィスや会議室をビデオ会議用に最適化する方法については、Web サイトから入手可能な『*Video conferencing room primer*』および『*ビデオ会議室の音響ガイドライン*』をご覧ください。アクセス先：

<http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>



シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。次のリンクにアクセスします。
<http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts>

シスコシステムズ合同会社
 〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
 お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
 0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS 含む)
 電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>